

柔道整復演習Ⅰ		演習	教授 西川 彰
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12361305

1. 授業のねらい・概要

柔道整復師国家試験で出題される科目の中で出題率の高い「生理学」の理解を深めることを目的とする。そのため、過去の国家試験問題の演習を通して出題傾向の高い項目や学習のポイントを理解すると同時に、配布するオリジナルプリント教材を用いてキーワードとなる重要語句の確認と暗記すべき項目の整理を行う。

2. 授業の進め方

関連する科目として「人体機能学Ⅰ・Ⅱ」「人体機能学実習」で学んだ学習内容から、特に国家試験での出題傾向の高い項目を取り上げて授業を実施する。また、国家試験問題の解説を記入した「国試問題レポート」を作成し提出課題とする。

3. 授業計画

1. ガイダンス 生理学の基礎	8. 内分泌系の機能
2. 血液の生理学	9. 生殖
3. 循環の生理学	10. 骨の生理学, 体液の生理学
4. 呼吸の生理学	11. 神経の基本的機能
5. 消化と吸収	12. 神経系の機能
6. 栄養と代謝, 体温とその調節	13. 筋肉の機能
7. 尿の生成とその排泄	14. 感覚の生理学
	15. まとめ

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業時に配布する国家試験の過去問題に取り組んだ上で、毎回の授業に臨むこと（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポートについては添削、採点を行った上で返却する。また、定期試験については正答と問題の要点を希望者に配布する。

6. 授業における学修の到達目標

本授業では、柔道整復師国家試験の合格基準を満たす知識レベルまでの到達を目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験（期末試験）の結果のみ（100%）により評価する。

8. テキスト・参考文献

目崎登 監修／西川彰, 小林直行 著, 『生理学ワークブック』, 医歯薬出版, 2012年
その他の参考資料は、必要に応じて授業中に紹介または配布する。

9. 受講上の留意事項

毎回の授業時にはテキスト並びに配布プリントを必ず持参すること。
講義回数の3分の1以上を欠席した場合は、定期試験の受験資格を失うこととする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、人体解剖トレーニングセミナーにおける実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。